

日本近世生活絵引

北海道編

目次

まえがき	i
I 道南のアイヌの人びとの生活相 ——菅江真澄の民俗図絵より	1
作品解説	3
1 コタンの遠景—ウスノ瀉・ウスノ岳	4
2 コタンのすがた—チセと付属施設	7
3 チセの内部—セツカの上の女性	10
4 豎白・横白（ネマリ白）	12
5 食用の草の根	15
6 酒を飲む	18
7 狩猟—仕掛け弓	21
8 イルカ猟	24
9 額力で担う	27
10 ムクンリ・ムツクリ（口琵琶）	29
11 こうがいつき—子どもの遊び	32
12 陸小屋・丸屋形	34
II 松前地の社会相 ——央斎『模地数里』より	37
作品解説	39
13 赤塗りの御用船—長春丸	40
14 松前町々大略絵図	42
15 アイヌの御目見	44
16 商人の店	46
17 女商人・れんじゃく	48
18 野飼いの馬と馬士	50
19 夜番人と鳴子	52
20 門付けする座頭・替女（ごぜ）	54
21 角力興行—土俵の図	56
22 船頭の客	58
23 昆布を採る	60

Ⅲ 江差檜山の人びとの生活と生業	63
作品解説	64
Ⅲ-1 厚沢部川の土場に働く人びと	67
24 厚沢部川河口土場の留め縄と管流し材	68
25 地山師と手代、子ども	70
26 宰領人と日用人	72
27 材木の流送と筏組みに携わる日用	74
28 樽木・細丸太棒・角材の貯木場	76
29 筏組み作業中に一服する日用	78
Ⅲ-2 鯨漁をめぐる江差浜漁民と問屋（商人）	81
30 檜山番所とその界限	82
31 沖の口番所とその前の中歌町を歩きかう人々	84
32 江差町の姥神神社	86
33 多忙をきわめる鯨刺網漁	88
34 江差浜に運ばれた鯨を刺網から外す	92
35 網からの鯨外しと廊下での鯨貯蔵	94
36 鯨潰しと尻繋ぎ、鯨干場への運搬	96
37 干場での身欠鯨の早切干し	98
38 江差町の問屋街	100
39 江差町草分けの商人店と順正寺への道	102
40 土蔵群と梱包鯨製品の荷役、その検査	104
41 鷗島（弁天島）に舫う船々	107
42 蝦夷地漁場に急ぐ追鯨漁者たちと荷舟	109
索引	111